

平成31年 2月 吉日

「子ども家庭支援センターみらい」保護者各位

子ども家庭支援センターみらい

園長 大迫 より子

## 児童発達支援事業所における 保護者等からの児童発達支援事業所評価結果について（報告）

向春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。

さて、昨年12月より、当法人の乳幼児分野では児童発達支援事業所についての自己評価及び保護者へのアンケートを実施し、事業所の現状を見直し、そして多くの意見を寄せていただく中で気づきや今後の在り方を考えることができました。

保護者等からの評価につきましては、ほとんどの方々が事業所に対して満足しているという高い評価をいただきました。親の会と共につくりあげてきた歴史があり、子どもを真ん中にしながらそれぞれが役割を担い、共に育ち合うことができている現状が評価へとつながっていると考えられます。

今後改善が必要な項目としては、非常時等の対応「緊急時対応マニュアル、防火マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。発生を想定した訓練が実施されているか。」・「非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか」に「わからない」と答えている方が複数いらっしゃいました。

各マニュアルを作成し、すぐに手に取れる場所に掲示していますが、周知・説明が十分にできていない現状が見えてきました。また、法令にしたがって必要な訓練を行っていますが、療育活動が複数のクラスに分かれているため、定期的に開催している実感を保護者自身が感じにくく、訓練についての説明や結果報告が不十分な現状が見えてきました。

今後は、上記の対応について、定期的に開催している保護者学習会や事業所内の便り等に取り入れ、周知を図っていきたいと思います。また、様々な災害（桜島大噴火等）を想定しての訓練等も積極的に行っていきたいと考えています。

今後も、事業所への要望や意見等を寄せていただく中で、よりよい事業所づくりに努めていきたいと考えています。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。